□を楽しむ

ながたあきこ

こまを楽しむ

「こま」

「こま」は〇〇語で何というの？

こまのなまえを知ってる？

鳴りごま

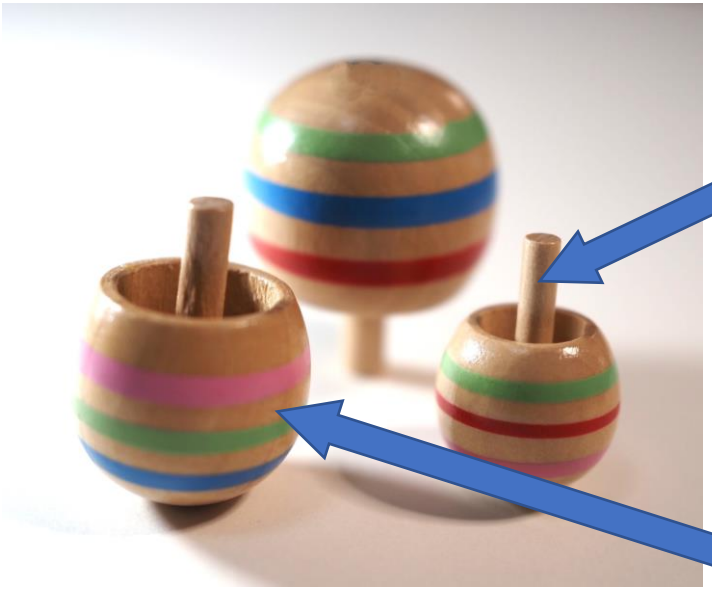
さか立ちごま

色がわりごま

中国ごま/ディアボロ

投げごま

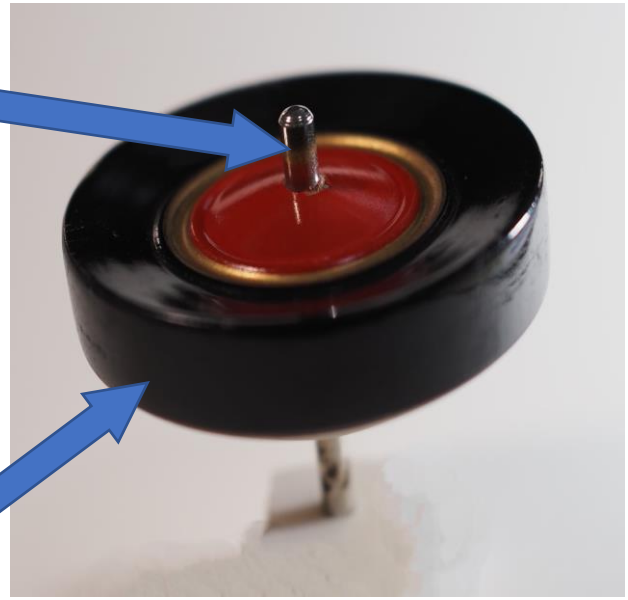
ここは なんというの？



心ぼう

（じく）

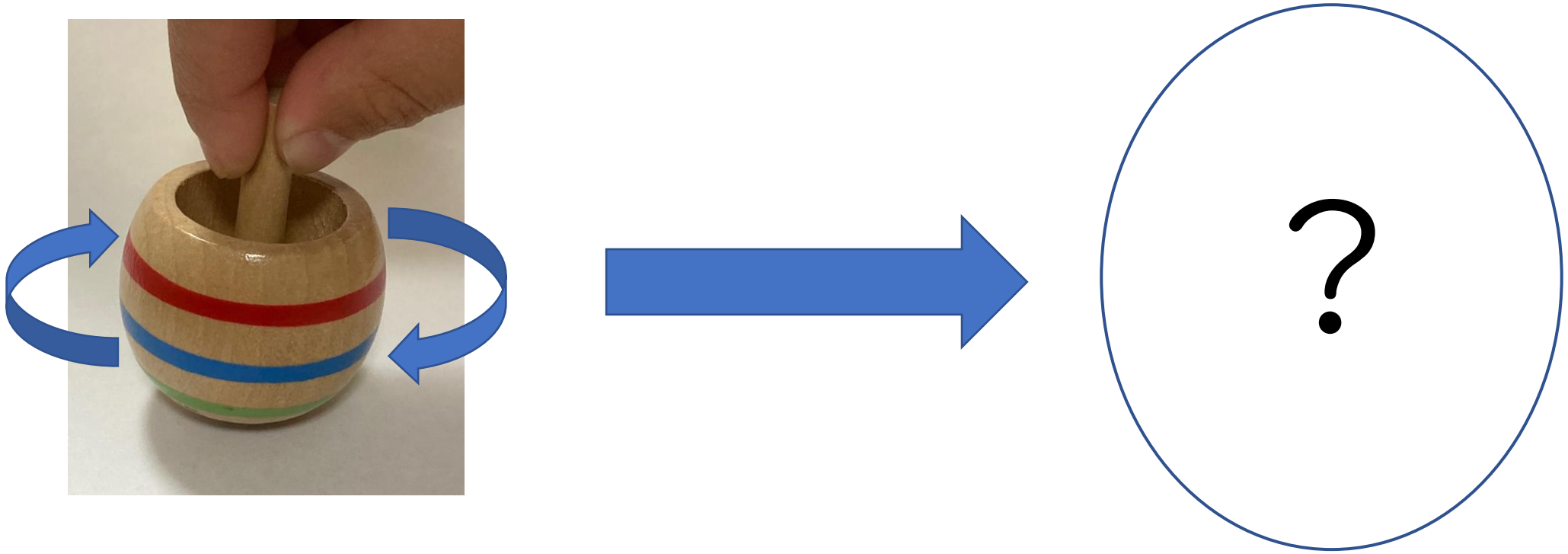
どう



これは「さか立ちごま」です。

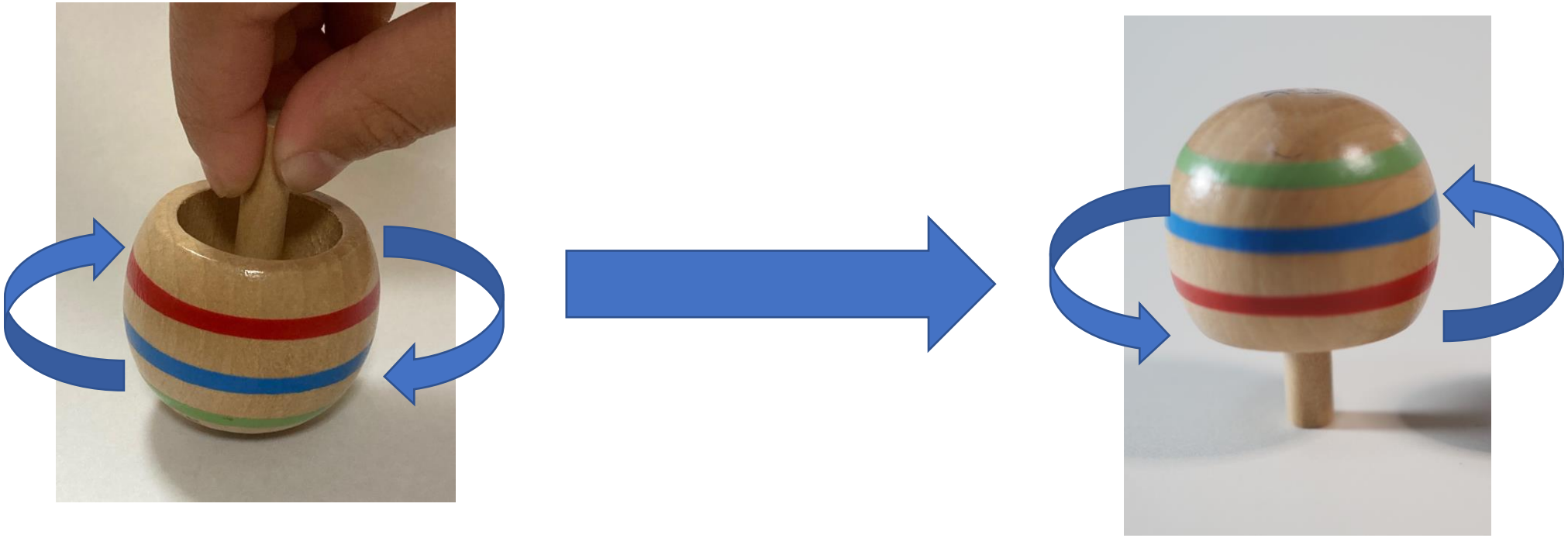
心ぼう（じく）をつまんで、ひねって回すと、

どうなるかな？

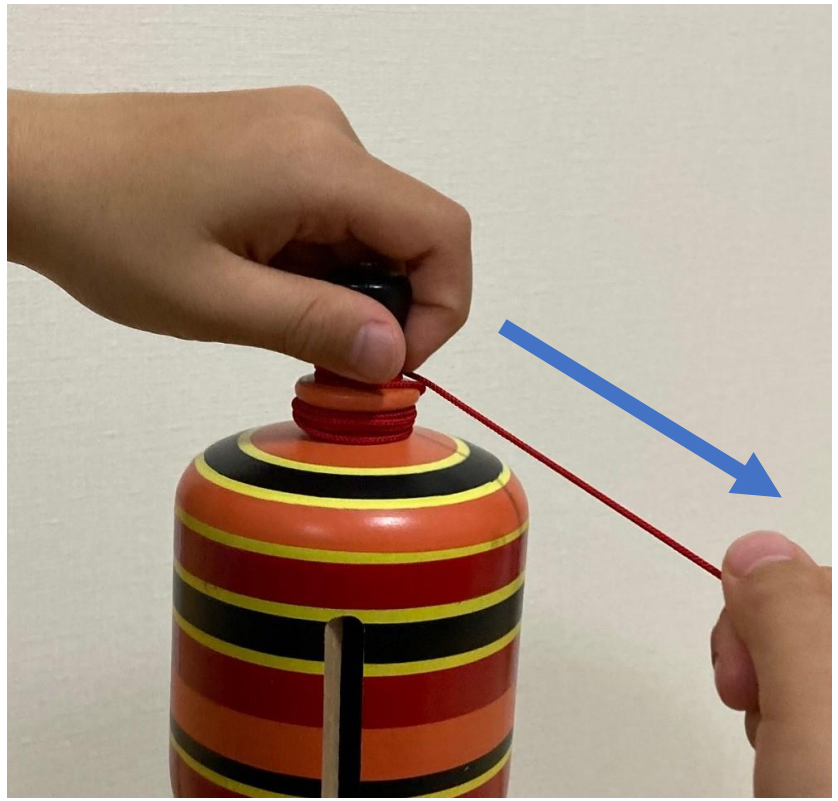


「さか立ちごま」はひねって回すと、

さか立ちするよ！

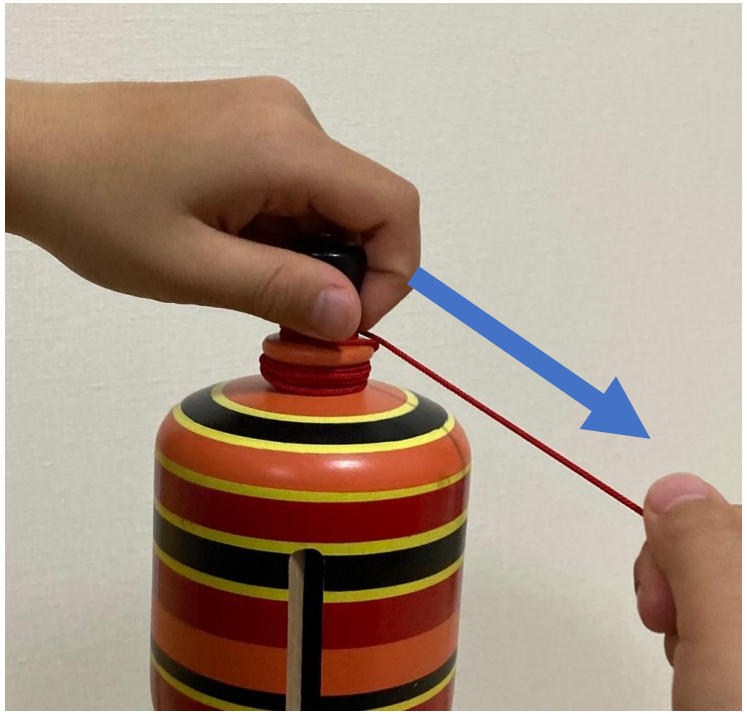


これは「鳴りごま」です。
ひもを引っぱって回すと、どうなるかな？



ひもを引っぱって回すと、

音が鳴るよ！



ボーッ

これは「色がわりごま」です。
ひねって回すと、どうなるかな？

？

ひねって回すと、色が変わった！

自分で　作れるよ！

色変わりごまを作る材料

CD

ビー玉

色ペン

セロテープ

作り方

① CDに好きな絵を書きます。

② CDのあなにセロテープで
ビー玉をつけます。

③ できあがり！

色がわりごま

大集合

作ってみてね！

【作成意図（作成のきっかけ・思い・ポイント）】

① 小学校３年生の教科書（光村図書）にある「こまを楽しむ」を勉強する前に、子どもたちがこの活動を経験することで、教室活動に楽しく参加できるようにと考えました。

② どの国にもある「こま」について友達と話をしたり、色変わりごまを作って遊ぶことで、実際の授業で「知ってる！」「やったことある！」などと積極的に参加できるといいと思います。

③ また、「作り方」の説明を聞いたり、おもちゃの作り方を説明したりする助けになると思います。

④ 一緒にこまづくりを実施するときには、子どもたちとのやり取りを楽しみましょう。

例：こまを用意して、回してもらう／「学校でやったよ」という３年生以上の子どもには「今日はお手伝いお願いね。これは何に使うの？」／「紫のペンが１本しかない」「じゃ、友だちに貸してあげて」など／教科書で使われている表現や言葉「つまんでひねると、色が変わるね」などとさりげなく繰り返していく／こまが手元にない場合、「鳴りごま　音」などで検索して、一緒に動画を楽しむ　など

⑤ 実際に対面の教室で実施したときの動画がありますので、ぜひご覧になってください。
P15の色がわりごまは、そのときの子どもたちの作品です。

【画像・イラスト出典】

・P1~4「ディアボロ」とP15画像　地球っ子支援者撮影
・その他の画像　作成者撮影